

令和8年度まちサポフォーラム・まちづくりリーダー研修会

開催要項

1 目的

多様化・複雑化する地域課題に対応し、持続可能な社会を築くためには、行政や特定の団体だけでなく、市民や地元企業を含むすべての主体が役割を担う必要があります。本事業は、地域に関わる一人ひとりが『まちづくりの当事者』としての意識を醸成し、立場を超えて手を取り合うための『共創の場』として実施するものです。特に今年度は、障害の有無や年齢、性別、国籍などを問わず、誰もが排除されることなく尊重される「インクルーシブな社会」の実現に深くフォーカスします。一人ひとりが自分らしく、自由に楽しく「やりたい」を実現し、それをみんなで支え合う。そんな「誰も取り残さない地域」と「支え合いの循環」の在り方を、対話を通じて共に描き、未来へのヒントを分かち合うことを目指します。

2 テーマ

「ジブンゴト会議 2026」

3 日時

令和8年5月24日（日曜）午後1時30分から午後3時30分まで

4 会場

守山市民ホール 小ホール

5 スケジュール

- 13:30～ 開会
- 13:31～ 市長あいさつ
- 13:34～ 本日の流れについて
- 13:35～ 基調講演 山岡 伸次さん（社会福祉法人長浜市社会福祉協議会）
- 14:05～ 団体紹介①民間非営利団体 IrisSeed
- 14:25～ 団体紹介②もりやまこども日本語学習クラブ
- 14:45～ 守山市長期ビジョン 2035 について
- 15:00～ グループディスカッション
- 15:30～ 閉会

6 基調講演

(1) 講師：山岡 伸次さん（社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 専門監）

(2) 講演テーマ

「まちづくりの新ルール！地域を巻き込むインクルーシブデザイン実践手法」

(3) 講演概要

少子高齢化や価値観の多様化が進む今、従来の「多数決」や「前例踏襲」のまちづくりは限界を迎えています。そこで注目されているのが、障がい者や高齢者、外国籍住民などを「デザインのパートナー」として巻き込むインクルーシブデザインの視点です。「一部の誰かのため」ではなく、結果として「全員が暮らしやすい」地域を創るための具体的なステップと、明日から地域で実践できる巻き込みの技法を学びます。

7 団体紹介

(1)民間非営利団体 IrisSeed 代表 岩田 大輔さん

活 動：貧困や虐待、ネグレクトに悩む子どもとその保護者に向けた支援事業

(2)もりやまこども日本語学習クラブ 代表 奥村 智恵子さん

活 動：日本語指導が必要な外国にルーツを持つこども達の学習支援事業

8 守山市長期ビジョン 2035 について

9 グループディスカッション

テーマ：守山にあったらいい♪と思うインクルーシブなもの/こと